

1月1日 | 2024年(令和6年)元旦  
弥山岳(桂川町)からの初日の出

桂川町の最高峰である弥山岳の展望所から、元旦の日主神に御来光を拝む「初日の出を見よう！」イベントが今年も開催されました。当日はあいにくの空模様で、日の出が見られるか心配されておりましたが、雲の間からくっきりと現れた御来光に、その場に居合わせた約30名から歓声が上がりました。



「グlaus山愛会 弥山岳を守る隊」によると、2023年中の弥山岳の登山者は2,153名で、例年並とのこと。弥山岳を守る隊は、桂川町の美しい自然を「残し・守り・伝える」ことを理念に活動しています。本活動に賛同していただける方は、ぜひご協力をお願いします。

問合せ/グlaus山愛会 弥山岳を守る隊  
☎090-4990-6234

1月14日 | 「家に恵みを与える」来訪神  
「とへとへ」4年ぶりに開催されました



土師地区の夜、「とへとへ〜」の声と共に来訪神に扮した若者たちが家々を訪ね歩き、水をかけられる。今年は4年ぶりに「とへとへ」が開催されました。「とへとへ」とは、「家に恵みを与える」というお祝いの言葉であり、また来訪先で水をかけられるのは、「田植えの時に水がたくさんありますように」という祈りだと言われています。水量は家々によって様々。小さなコップを使う家もあれば、バケツ数杯で豪快に水をかける家もありました。水をかける方もかけられる方も笑顔があふれる、どこか不思議でありながら、地域のつながりを感じさせてくれる行事でした。



1月4日 | 第19回 アジア競技大会 侍ジャパン選手  
金子 聖史 選手が町長を表敬訪問しました

アジア版オリンピックとも言われるアジア競技大会。その19回大会(令和5年10月1日~10月7日に開催)の野球競技で、銅メダルに輝いた侍ジャパン。その一員として出場した金子 聖史(かねこ としふみ)さんが、町長を表敬訪問されました。

金子さんは桂川町出身で、桂川中学校時代には野球部に所属していました。その後、飯塚高校、九州共立大学を経て、東芝の社会人野球チームに入団。現在も活躍を続けられています。アジア競技大会では、背番号3を背負い、内野手や指名打者として出場。中国との3位決定戦では、2回表に左中間にツーベースヒットを打ち、チームの逆転へとつながる等の活躍をされました。

町長との対談の中で、桂川中学校の生徒たちに向けて、「中学校時代は多感な時期で、勉強や運動等で色々と思悩むことも多いと思います。私もそうでした。だけど、改めて自分自身の当身を振り返ってみると、貴重で尊い時期でもありました。中学生の時はアジア競技大会に参加できるなんて想像もしていなかったけれど、当時から野球を続けていたから今の自分がいます。皆さんは、可能性のかたまりです。ぜひ何か熱中できるものを見つけて、一生懸命取り組んでみてください。」と応援のメッセージを贈られました。

